

不妄語、嘘を言わない。仏教の「十善戒」の一つですが、人と人との係わりの中で、ついつい大袈裟に控え目に表現しているのが現実です。中には、美德のように考えて、お世辞を言ったり、べんちゃらやお愛想をつかっています。

また逆に、心に無い遠慮や謙遜も不必要なことです。自分の心をより正確により正しく表現することが、誤解を減らして、より信用や信頼をもたらすのです。

お世辞やお愛想、遠慮や謙遜を必要としている自分自身を省みて、如何に欲多く、己を愛しく思っているものかと。より正確に心を伝える勇気を持って謙虚にして、「少欲知足」に。嘘を言わない「不妄語」が、私の心をより軽くしてくれるのです。